

水

しぶきの中、笑顔
いっぱい声が響く
プール内。かみんぐ
では、市民の皆さんに喜んで
もらえるよう、プール祭りや節分
イベント、年齢に応じた水泳教
室など、季節や目的に応じた多
種多彩な自主事業を実施してい
ます。

一緒に楽しむ「ト」

ハンディキャップのあるなし
に関わらず、誰もが自分らしく
輝ける時間と場所をつくりたい。
そんな想いから生まれたのが、
「ハンディキャップ水中運動会」
です。水中という特性を活かす
ことで、普段は動きにくさを
感じている人も、自由に身体を
動かす楽しさを実感できます。
そこにあるのは、「できる・
できない」ではなく、「一緒に
楽しむ」気持ちです。

プールを管理する指定管理者、
(株)オカモトの岩井さんは「自主事業をやる目的は、地域
コミュニティの形成ですね。そ
して市民の皆さんに喜んでもら
えることが一番大切」と話し、
「多世代が交流し、仲間をつくら
せて笑顔が交わされる場所にし
たい。また高齢化が進む時代だか

誰だって始めるのは不安だから声をかけるんです

最近では、泳ぐことに興味を
持ってくれる方が増えてきた

仲間をつくって

笑顔が交わされる場所にしたい。

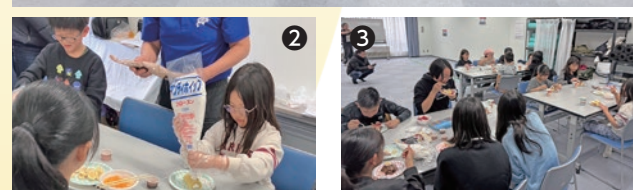


そう。とはいえ、水泳は自分の
姿を直接見ることができないス
ポーツ。「これで合っているのか
な？」と不安になる方も少なく
ありません。「だからこそ、誰か
が見守って、声をかけてあげる
ことが大切なんです。実際、『ア
ドバイスがほしい』という声も
よくいただきます。ちょっとし
た声かけが、その人のやる気
につながっていくんですよね」と
語る岩井さん。そしてその声か
けは、利用者だけでなく、支え
る側の励みにもなっていると言
います。「声をかけたことで笑顔
が返ってきたり、『ありがとう』



プールサイドで見守るスタッフの皆さん。一番左が岩井さん。市民の皆さんが安心して遊べるよう、チーム一丸となって見守っています。

と言ってもらえると、こちら
も嬉しくなったり、もっと力に
なりたいって思えるんです」。



1234今年の2月1日、利用者の交流や親睦を深めるために初めて開催した節分イベント。恵方巻に見立てたロールケーキにチョコレートやフルーツでトッピングをして、個性を生かしたロールケーキをみんなで楽しく食べました。参加した子どもたちからは「とても楽しかった」と大好評。メインの豆まきには、鬼も登場し白熱した豆まき大会となりました。

とあって、ここが目指すのは運動の
場だけではなく、自分
とあいさつを交わし、自分の
ペースで過ごせる、そんな日
常の「居場所」になることも
大切になっています。
さあ、この夏、プールへ行っ
てみませんか？

市民プールかみんぐ



北斗市運動公園の中にある屋内温水プール。
上磯駅から徒歩約7分。駐車場を完備し、バリア
フリー対応です。
「いつでも、どこでも、だれもが、性別・年齢・

技量に応じて水泳等を楽しむことができる施設づ
くり」を目指しており、プールを利用した健康づ
くりや、親子・仲間とのコミュニケーションの場
として、気軽にご利用いただける施設です。

住所・電話 北斗市押上1丁目3番1号 ☎73-0858
休館日 毎週月曜日、祝日の翌日(当該日が休日の場合は、その翌日)
年末年始(12/29~1/3)、機械整備(5月 約10日間)
営業時間 9:00~21:00(遊泳・受付可能時間 10:00~20:00)



できる・できないなんてカンケーない！

みんなが楽しめる場所。

「みんなに喜んでもらいたい」

そんな想いで自主事業を実施するスタッフのみなさんにお話を伺いました。

プール利用者数が近年UP！

小学生未満
1.5倍

R5 1,376人
R6 2,133人

65歳以上
1.15倍

R5 7,814人
R6 8,954人

中学生以下
自主事業
登録会員
約4倍

R5 30人
R6 130人

